

# 常陸大宮市

資料編4 近世II

古文書が語る 社会の動き、

家と家族、それぞれの人生、そして幕末騒乱

◆慶長7年（1602）の佐竹氏の国替え以降、江戸時代の常陸大宮に関する新出史料を含む古文書329点とカラー口絵50点を掲載。

◆江戸時代の人びとの生活と密接に結びついた水陸交通や旅、家や家族のありよう、系譜や由緒の継承、学問や教育など、7つのテーマにより構成。

◆長倉松平家、水戸藩の幕末騒乱と地域社会など、市域と深く関わる特色あるテーマを古文書から紹介。様々な角度から水戸藩領農村社会像を描く。

執筆者：添田仁、大内正臣、川上真理、千葉真由美、高村恵美、平野哲也、坂本達彦、

天野真志、永井博、笹目礼子

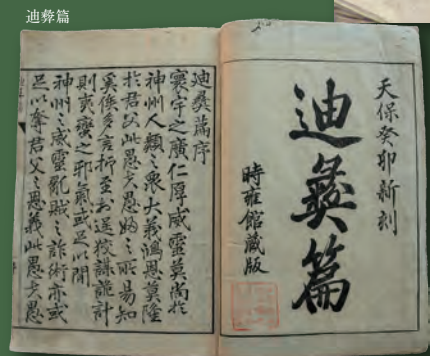
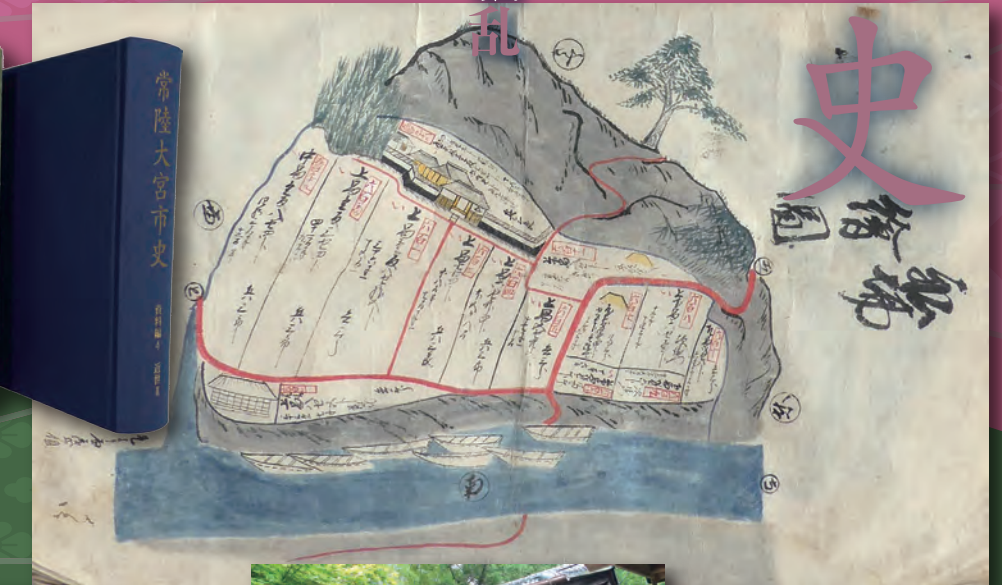
仕様：B5判、809頁、口絵32頁カラー、クロス装、上製本、箱入り  
価格：4,500円

郵送での購入も可能です。市ホームページなどでご確認ください。

『常陸大宮市史』はふるさと納税返礼品としても取り扱っています。



令和8年度に刊行記念シンポジウム及び市史セミナーを開催予定です。詳細は市ホームページをご覧ください。



那珂郡野田村田島反別絵図



小野上岸焼印

大賀家河岸蔵

# 常陸大宮市史 資料編4 近世Ⅱ

## 目次

### 第9章 道を行き交う人とモノ

- 第1節 往来する人馬と荷駄
- 第2節 道・橋の維持と管理
- 第3節 人馬役の負担

### 第10章 久慈川・那珂川の水運

- 第1節 河岸の成立
- 第2節 河岸経営と流通
- 第3節 那珂川の河岸改革
- 第4節 久慈川の通船願

### 第11章 旅人が観た風景

- 第1節 祈願と旅
- 第2節 旅を支える人びと
- 第3節 参詣の基礎集団
- 第4節 御用と旅
- 第5節 旅人が観た市域

### 第12章 村人たちの人生

- 第1節 家を守る—継承への努力—
- 第2節 私を生きる—個人の生活史—
- 第3節 暮らしの技—よりよく生きる—

### 第13章 家と個人の記憶

- 第1節 諸家の系譜・系図と家意識
- 第2節 野口村関沢家の由緒と家訓
- 第3節 長倉村泉家の由緒
- 第4節 秀郷流藤原氏皆川家の由緒
- 第5節 旧領主の記憶と交流

### 第14章 学問・思想と地域社会における実践

- 第1節 郷校の設置と運営
- 第2節 学びと交流
- 第3節 世情への関心と実践

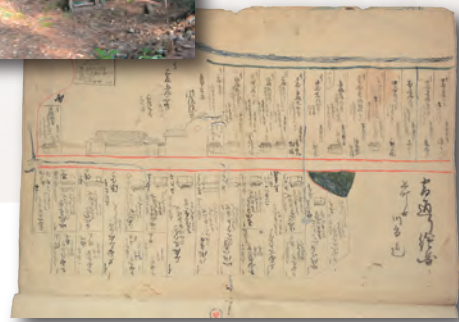
### 第15章 幕末騒乱と地域社会

- 第1節 徳川斉昭と地域
- 第2節 幕末騒乱と地域
- 第3節 長倉松平家

小場義実墓碑・遷墓碑



野口村宿通り絵図



## 販売開始

令和8年4月21日(火)

## 販売窓口

市役所文化スポーツ課 (常陸大宮市中富町3135-6、市役所3階)  
歴史民俗資料館 (常陸大宮市中富町1087-14、月曜・祝日休館)  
文書館 (常陸大宮市北塩子 1721、月曜・祝日休館)

## 既刊

『常陸大宮市史 資料編1 考古』	6,000円
『常陸大宮市史 資料編2 古代・中世』	3,500円
『常陸大宮市史 資料編3 近世Ⅰ』	3,500円
『常陸大宮市史 別編2 自然』	4,000円

## 刊行予定

『常陸大宮市史 別編1 民俗』	令和11年3月
『常陸大宮市史 資料編5 近現代』	令和12年3月

以後続刊

## 郵送でのご購入をご希望の方

以下のものを文化スポーツ課あてにお送りください。  
ゆうパック着払いでお送りします。

- ①代金分(4,500円)の普通為替証書または定額小為替
- ②購入する書籍名・冊数、郵送先のご住所・お名前・電話番号を書いたメモ

## お問合せ先

常陸大宮市教育委員会事務局  
文化スポーツ課文化振興グループ  
〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町 3135-6  
TEL 0295(52)1111 [内線 343] FAX 0295(53)6502  
MAIL bunsupo@city.hitachiomiya.lg.jp